

|    |  |
|----|--|
| 科目 | 授業改善について、独自に工夫されていることについてお書きください。  |
| F  | * 分かり易い講義にするために、説明するときにパワーポイントスライドを用意している。<br>* 学生が課題に取り組みやすいように、課題用のワークシートを作成している。<br>* TOEICの得点向上のための情報を、教科書だけでなく、様々な本、専門家などから集めている。   |
| F  | 学生から授業目標にそった独自のアンケートを期末に実施し、自己分析して次期のテキスト選択や活動内容の見直しなどに生かしている。   |
| F  | 教科書、補助教材などを常に最新のものにし、授業に新鮮味を持たせるよう心掛けている。  |
| F  | 教室内のAVシステムをもっと使いやすくして頂ければ助かります。<br>プロジェクターとスクリーンが「ボタン一つで」同時に動作するよう[同期するよう]になれば授業がよりスムーズに行えます。  |
| F  | 授業では教科書の他に、各章ごとにプリントを使用し、学生達に取り組んでもらっています。全部で10~11枚に及びます。半年分の学生達の学習経緯を読み取ることができ、成績評価の一基準でもあり、自分自身の改善の一基準としても使用し、次回の改善につなげています。   |
| F  | 授業では、ポイント・システムを導入して学生がモチベーションを高めることができるよう工夫している。学生の<br>毎回の授業でのポイントは、学生履修名簿に記録して、学期末に学生が各自の獲得ポイントが確認できるようにしている。   |
| F  | 毎年、なるべく多くの授業で、本学が実施する「授業改善のためのアンケート」とは別に、最終日に学生にコメントを書いてもらうようにしている。記述欄を大きく取れるので、授業の長所や短所、各自の授業への取り組み方など詳しく具体的に書いてもらうことができ、非常に参考になることが多い。そしてその内容を可能な限り、次学期以降の授業へ反映させるよう心掛けている。  |
| F  | 授業時間を3つに分けて最初の30分を前回の復習(文法、語彙)、次の30分をその授業で扱う会話表現や文章表現の学習、そして最後の30分を文法の解説、問題演習と授業最後の課題を行う時間とした。こうすることでできるだけ授業時間内でドイツ語を練習する時間を増やした。  |
| F  | 第1限の授業のためか、当初遅刻をするものが多かったが、毎回授業の最初に小テスト(前回授業において学習した項目の理解度を確認するため)を実施したところ、遅刻者が少なくなったように感じた。(参加者にとって)専門科目ではないこともあり、モチベーションに非常に差があると感じたため、できるだけペア・グループワークを増やし、各自が積極的に作業に取り組むよう工夫した。その言語が話されている国の文化事情を知ること、モチベーションの向上に役立つと考え、関連するDVDを視聴した。 |
| F  | 「教員とのコミュニケーション」は他の外国語科目の授業と比べると、「そう思う」の回答は少ないです。今度に改革について考えています。   |
| F  | 机間授業を通じて学生との意思疎通を図りながら、個々の質問に丁寧に答えることによって、学生の理解を深めるようきめ細かな授業を行うよう努めている。  |
| F  | 照明、空調などの環境を整えること。  |
| F  | 1. 何度も復習を重ねながら、また授業のペースを調整しながら、なるべくほとんどの人が、当初設定した授業目標を達成するよう工夫しました。<br>2. 文法を重視し、1年間の中国語の授業が終わっても、自ら自習できる力を備えさせる工夫を行いました。  |

|   |  |
|---|--|
| F | 小テストの出題方法を学生の意見を聞いて改善した。(全文記述から穴埋め式にした)教科書だけでなく、独自に作成したプリントを配布してすすめている。またなるべく会話する時間をもつために。会話練習をとりいれている。  |
| F | 学生が受け身にならないで、自分から参加するような授業を心がけ、会話や発表を中心にしたリ、ブラジル人の留学生の話の聞いたり、ブラジル料理のお弁当を食べるなどの工夫をした。   |
| F | 常に学生のレベルや理解度に合わせている。レベルが多岐に亘る場合は、標準に合わせて、できる学生に対して課題を与えるなどしている。  |
| F | 特にない   |
| F | 常によりよい教材を見つける努力をしている。  |
| F | コミュニケーション能力育成の授業になりますと、テキストの内容自体が簡単になり、授業外学習時間が少なる傾向があります。そのため、e-learningによる授業外学習の課題を設定しています。  |
| F | 1. グループ・アクティビティ(毎回の授業; 余分な緊張を感じさせない適度な人数): ペアあるいは小グループで覚えた英語表現を活用し意見交換することを通して、英語でのコミュニケーション能力を上達させる。<br>2. グループ発表(学期末; 自分たちの調査結果と意見を英語で発表): グループでテーマを決め、それについて文献やインターネットで調査し、原稿を英語でまとめ、英語で発表する。半期の学習成果をクラスで共有する機会となる。 |
| F | 独自の英語習得法、「英語の裏ワザ」を用いて、オリジナルな授業をすることを心がけている。  |
| F | 実際に用意してきたことを行いつつ、対面する学生の反応を見ながら、随所改善を試みた。  |
| F | 毎年、なるべく多くの授業で、本学が実施する「授業改善のためのアンケート」とは別に、最終日に学生にコメントを書いてもらうようにしている。記述欄を大きく取れるので、授業の長所や短所、各自の授業への取り組み方など詳しく具体的に書いてもらうことができ、非常に参考になることが多い。そしてその内容を可能な限り、次学期以降の授業へ反映させるよう心掛けている。  |